

【経 過】

2015年 9月19日	安法制関連法参議院で強行採決，成立
2016年 3月29日	同 施行
4月26日 ～	東京・いわきを皮切りに安法制違憲訴訟が全国各地で提起
8月	安法制に反対してきた県民と弁護士とで宮崎訴訟提起を検討
2016年 11月30日	安法制違憲訴訟みやざきの会発足（原告・賛同者で構成）
2017年 3月11日	第1回原告のつどい（訴状説明兼原告の交流会）
3月29日	安法制違憲訴訟宮崎訴訟を宮崎地方裁判所に提起 原告 225名 代理人弁護士 26名 宮崎県内に居住する30代～90代の市民
5月23日	第2回原告のつどい 勉強会—憲法9条の成り立ち，国内外での役割 原告交流と訴訟にかける思いの意見交換など
7月12日	第1回口頭弁論期日（宮崎地裁201号法廷） ・訴状陳述に替えたプレゼンテーション実施* ・弁護団代表意見陳述 ・原告3名意見陳述（弁護士，母親，元裁判官） ・国の答弁：安法制の違憲性に関して認否せず。 平和的生存権，人格権，憲法改正決定権の具体的権利性を否定
8月30日	第3回原告のつどい 勉強会 （集团的自衛権の歴史，憲法9条の世界的役割，平和への権利宣言，核兵器禁止条約） 陳述書作りのための原告交流会
11月1日	第2回口頭弁論期日（宮崎地裁201号） ・準備書面（1）権利侵害の基本構造と被告答弁書への反論 ・準備書面（2）駆け付け警護等及び武器等防護の違法，違憲 ・準備書面（3）朝鮮半島有事の際の新安法制による米軍への軍事的支援活動と 他国間戦争にまきこまれる具体的現実的危険 *パワポプレゼン実施 ・原告3名意見陳述（宮崎空襲体験者，被爆者，自衛官の家族）

11月29日	<p>安保法制違憲訴訟みやざき結成一周年記念講演会（兼原告の集い）</p> <p>講師 飯島滋明氏（名古屋学院大学教授）</p> <p>「改めて安保法制違憲訴訟の意味を考える～国連平和への権利宣言，核兵器禁止条約，北朝鮮ミサイル問題，改憲の動きを踏まえ～」</p>
12月27日	<p>第二次提訴 原告 34名（原告合計 259名）</p>
2018年 2月21日	<p>第3回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（4）立法不法行為と新安保法制法制定過程の違法性 ・準備書面（5）平和的生存権の権利性・被侵害利益性 ・準備書面（6）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争にまきこまれる具体的現実的危険および国民生活の犠牲—その1*2017・5～12の新聞記事から* ＊パワポプレゼン実施 ・原告3名意見陳述（延岡空襲体験者，若者，戦争入隊体験者）
6月6日	<p>第4回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（7）人格権の権利性・被侵害利益性 ・準備書面（8）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争にまきこまれる具体的現実的危険および国民生活の犠牲—その2 ＊パワポプレゼン実施 ・弁護団意見陳述（東京訴訟事務局長杉浦ひとみ弁護士） ・原告3名意見陳述（医療関係者，戦争体験のある障がい者，教育関係者） <p>法廷後第4回原告の集い 東京訴訟原告菱山南帆子さんと宮崎原告の若者トーク</p>
9月1日	<p>宮崎県弁護士会主催 憲法シンポ 青井未帆（学習院大学准教授）講演会 &安保法制違憲訴訟宮崎原告とのパネルディスカッション</p> <p>「安保法制，改憲その先にあるもの」</p>
10月16日	<p>第5回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（9）憲法改正決定権の侵害とその被害 ・準備書面（10）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争にまきこまれる具体的現実的危険および国民生活の犠牲—その3 ・原告3名意見陳述（満州生活体験者，反戦の母親，戦争体験のある教育関係者）
11月27日	<p>第6回原告のつどい（みやざきの会結成2周年記念）</p> <p>講師 吉井千周氏（都城高専准教授・原告）の講演会</p> <p>「日本国憲法が目指す世界：これまでとこれからのために」</p>
12月25日	<p>第三次提訴</p> <p>原告 20名（原告 279名）・原告代理人弁護士 28名（復代理含む）</p>

<p>2019年 2月6日</p>	<p>第6回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（11）核兵器禁止条約，平和への権利宣言採択へ向け果たした日本国憲法9条の役割，普遍的先駆的価値（平和的生存権の具体的権利性の補充） ・準備書面（12）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争にまきこまれる具体的現実的危険および国民生活の犠牲—その4 <p>*パワポプレゼン実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原告3名意見陳述（元市議会議員，教育研究者，戦争体験のある母親）
<p>5月9日</p>	<p>第7回原告のつどい</p> <p>田中 隆（弁護士）&上原公子（元国立市長 原告）</p> <p>「戦争法（安保法制）と国民保護—私たちはもう戦争にまきこまれている?!」</p>
<p>6月3日</p>	<p>第7回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）*終了後進行協議</p> <p>*裁判長交代による弁論更新（パワポプレゼン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（13）安保法制の違憲性（明白な違憲性）総論， ・準備書面（14）同各論 ・準備書面（15）安保法制の背景と日本社会の変容 ・準備書面（16）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争に巻き込まれる具体的危険および国民生活の犠牲—その5 <ul style="list-style-type: none"> ・原告意見陳述2名 （労働運動家，従軍慰安婦問題に取り組んできた教職員労働組合活動経験者） ・弁論更新に当たっての弁護団意見陳述（後藤好成弁護士）
<p>10月9日</p>	<p>第8回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（17）違憲審査制と裁判所の役割 ・準備書面（18）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争に巻き込まれる具体的危険および国民生活の犠牲—その6 <ul style="list-style-type: none"> ・原告3名意見陳述（戦争体験者を母に持つ平和を願う市民，母親，平和運動家）
<p>11月2日</p>	<p>みやぎきの会結成3周年イベント</p> <p>講師 半田滋氏（東京新聞論説兼編集委員）講演会</p> <p>「安保法制下の自衛隊～踏み越える専守防衛～」</p>
<p>2020年 2月18日</p>	<p>第9回口頭弁論期日（宮崎地裁201号）*終了後進行協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備書面（19）本件訴訟の最重要争点—新安保法制法の違憲性判断は不可避である ・準備書面（20）新安保法制による米軍への戦争支援活動と他国間戦争にまきこまれる具体的現実的危険および国民生活の犠牲—その7 ・準備書面（21）新安保法制下でいっそう進む日米の軍事的一体化と「専守防衛」の逸脱，戦争に巻き込まれる具体的危険と国民生活の犠牲等の一部 ・準備書面（22）被害論まとめ2—新安保法制における国民等に対する権利制限 <ul style="list-style-type: none"> ・原告2名意見陳述（元国立市長，法社会学者） ・弁護団意見陳述（寺井一弘弁護士）

	・人証申請 証人（青井未帆，飯島滋明，半田滋，今井高樹），原告本人23名
6月10日	第10回口頭弁論期日 （宮崎地裁201号）＊期日前に進行協議 ・弁護団による，尋問採用を求めることについての口頭説明 ・原告2名意見陳述（戦争体験者）
8月30日	今井高樹氏（日本国際ボランティアセンターJVC代表理事）講演会 ～「積極的平和主義」は紛争地に何をもたらすのか～ （第9回 原告のつどい）※ZOOM配信あり
9月9日	第11回口頭弁論期日（尋問採否決定期日） ＊期日前に進行協議 ・意見陳述2名（戦争体験者，教育関係者） ・弁護団による準備書面23についての意見陳述
10月2日	第12回口頭弁論期日（原告本人尋問，証人尋問期日） ・原告6名本人尋問（元裁判官，母親，若者，NGO関係者，宗教関係者，基地周辺住民，満州引き揚げ体験者など） ・証人尋問 半田滋 今井高樹 飯島滋明 各証人
10月20日	第13回口頭弁論期日（原告本人尋問期日） ・原告15名本人尋問（元国立市長，被爆二世，法学研究者，満州引き揚げとシベリア抑留体験二世，若者，自衛官家族，宮崎空襲体験者，元宮崎大学学長，複数疎開体験者，被爆者，満州生活体験者，元教育者，詩人，母親兼市議会議員など）
2021年 1月6日	第14回口頭弁論期日 14:30～15:30 結審 ・最終準備書面要旨のプレゼンテーション ・弁護団意見陳述
4月18日	講演とパネルディスカッション ・内村涼子（東京弁護団），「安保法制違憲訴訟の今そしてこれから一声をあげ続け9条の安全装置を取り戻すために」 ・小西誠氏「琉球諸島のミサイル要塞化を問う」（元反戦自衛官 軍事ジャーナリスト） （第10回原告の集いーZOOM，ユーチューブLIVE配信併用）
5月8日	連続勉強会（ZOOM開催） 講師：吉井千周（都城高専准教授・原告） テーマ「司法権の独立」
5月26日	判決期日 宮崎地方裁判所201号法廷（憲法判断なし請求棄却）

6月8日	福岡高裁宮崎支部へ控訴（控訴人176名）
7月29日	控訴理由書提出 控訴理由書の内容について原告賛同者勉強会（拡大事務局会議 ZOOM 併用）
8月30日	原告陳述書集「私は平和の中で生きたい--声をあげた 279 人」（鉦脈社） 発行出版
11月3日	原告陳述書集「私は平和の中で生きたい--声をあげた 279 人」 出版記念リレートーク&5周年記念原告の集い （市民プラザギャラリー I） ZOOM 併用
12月15日	福岡高等裁判所宮崎支部 控訴審第1回口頭弁論期日（201号法廷） 弁護団による控訴理由書と控訴審第1準備書面プレゼンテーション 控訴人意見陳述 1名（前田裕司） （建友会館で 13:30～事前集会&16:00～報告集会）
2022年 3月9日 15:00～	福岡高等裁判所宮崎支部 控訴審第2回口頭弁論期日（201号法廷） 弁護団による控訴審第2, 第3準備書面プレゼンテーション 控訴人意見陳述 1名（大口玲子） （14:30～行進&16:00～報告集会 ウクライナ侵攻抗議アピール採択）
6月29日	福岡高等裁判所宮崎支部 控訴審第3回口頭弁論期日（201号法廷） 弁護団による控訴審第4～第9準備書面プレゼンテーション 控訴人意見陳述 2名（海保寛 樋口のり子） （14:30～行進&16:00～報告集会） *長谷部恭男教授尋問が東京高裁において10月3日に実施予定、その証人調書を証拠提出予定のため、次回尋問の後、次々回を12月14日と指定結審予定とした）
9月21日	福岡高等裁判所宮崎支部 控訴審第4回口頭弁論期日（201号法廷） 志田陽子（武蔵野美術大学教授 憲法）証人尋問 （14:30～行進&16:00～報告集会） ◆裁判官3名に対する忌避申立（東京高裁長谷部恭男証人尋問期日取消に伴い同証人調書提出が間に合わず同年12月14日結審期日の続行もしくは延長を求めたが、即時に変更しないとしたため）

9月22日	志田陽子先生講演会「国葬儀と憲法53条・臨時会問題」 ～囚われの市民と憲法の空文化～ (宮崎県弁護士会館 ZOOM 併用)
9月22日 ～10月	忌避理由書提出(+改めての忌避申立) 忌避却下9月30日(受領10/4) 特別抗告(10月7日)※却下決定受領後5日以内 特別抗告理由書(10月27日)※最高裁からの通知後2週間以内
11月19日	第14回 原告の集い 「辺野古から見える日米安保と憲法 ～沖縄・東アジアで戦争をおこさないために～」 (講師:加藤 裕 沖縄弁護士会会員 沖縄県辺野古基地訴訟弁護団) (宮崎県弁護士会館 ZOOM 併用)
12月14日 15:00～	福岡高等裁判所宮崎支部控訴審第5回口頭弁論期日(201号法廷) 弁護団意見陳述(増田良文、成見暁子、久保山博充、大村薫) 控訴人意見陳述(前屋敷恵美、山下賢兒) 結 審
2023年 2月14日	弁論再開申立 2017年北朝鮮危機時の国家安全保障会議の統合幕僚長等の出席状況、 議事内容に関する文書送付囑託回答書(2022年12月20日付 群馬 訴訟)と2023年4月7日実施予定の長谷部証人尋問の尋問調書の証拠 調べを求める。
2023年 3月8日 15:00～	<u>控訴審判決言渡し 福岡高等裁判所宮崎支部控訴審(201号法廷)</u> <u>(違憲判断なし)</u> (14:30～行進&裁判所門前集会&15:30～報告集会) 安保法制違憲訴訟全国ネットワーク代表内山新吾弁護士(山口)から全国 情勢報告と連帯の言葉 (判決前にブックレット「私は平和の中で生きたい」第二集発行)
2023年 3月20日	最高裁判所に 上告, 上告受理申立 (第1小法廷に係属)
2023年 5月16日	上告理由書、上告受理申立理由書 提出 資料1～14(東京高裁長谷部恭男尋問調書、2022年12月安保三文書、青 井未帆 立法国賠における保護法益関連論文、寺井・伊藤著「平和憲法 で戦争させない」他) 添付

2023年 9月19日	上告理由補充書、 上告受理申立理由補充書 提出 資料(仙台高裁長谷部恭男尋問調書 青井未帆 敵基地攻撃能力安保三文書関連論文) 添付
2023年 9月23日	第15回原告の集い 「憲法と戦争とジェンダーと」講演会(於 宮日ホール) (講師 元法政大学総長 平和を求め軍拡を許さない女の会 田中優子さん)

これまでの詳しい経過や提出資料などは
「安保法制違憲訴訟みやざきの会」ホームページでご覧いただけます。

安保法制違憲訴訟みやざきの会



URL : <https://anpo1ken-miyazaki1.jimdofree.com/>

